

# 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）構想調査報告

---

【概要版】

# 構成

---

目次	内容
1.はじめに	(1) 静岡型生涯活躍のまち(CCRC) 構想検討の背景・目的
2.静岡型生涯活躍のまち(CCRC)を取り巻く現状・課題	(1) 人口動向 (2) 関連計画 (3) 静岡市の特性 (4) 静岡型生涯活躍のまち(CCRC)に対するニーズ
3.静岡型生涯活躍のまち(CCRC)とは	(1) 目指すべき姿 (2) 地域包括ケアシステムとの関係 (3) 移住パターン
4.静岡型生涯活躍のまち(CCRC)の機能・サービス要件	(1) 基本的な機能構成 (2) コンセプト (3) コンセプト関係図 (4) 地域交流拠点のあり方 (5) 持つべき機能・サービス
5.静岡型生涯活躍のまち(CCRC)の類型	(1) 3つの類型 (2) タウン型 (3) エリア型 (4) 施設型
6.静岡型生涯活躍のまち(CCRC)推進に向けて	(1) 役割分担 (2) 運営スキーム (3) ロードマップ(案) (4) 推進効果

## 1.はじめに (1) 静岡型生涯活躍のまち (CCRC) 構想検討の背景・目的

---

- 静岡市の人口は、平成2年（1990年）の73.9万人をピークに減少し続け、平成22年（2010年）には71.6万人となった。また、平成32年（2020年）には67.9万人、平成52年（2040年）には55.9万人になると推計されている。静岡市第三次総合計画においては、この人口減少問題を最重要案件として捉え、**「平成37年（2025年）に総人口70万人を維持すること」**を目標に掲げ、各種施策の検討・推進を本格化させている。
- 上記のような背景の中、静岡市は、今後の人口減少・少子高齢社会の進行等による都市構造の変化や都市へのニーズの変化を踏まえ、時代に合った「まち」をつくるため、「人のつながりと地域力が強い」「元気な高齢者が多い」という本市の特徴を活かした**「静岡型地域包括ケアシステムの構築」**を進めているところである。
- そして、**「高齢者の社会参加が盛んな地域特性と静岡型地域包括ケアシステムを活かし、高齢者が元気な段階から住みたいと思う「土地」に居住して心身両面から健康寿命を延伸するとともに、十分な医療・介護サービスが受けられるような、「静岡型生涯活躍のまち (CCRC)」の実現に取り組んでいる。**
- そこで、国による生涯活躍のまち構想に関する政策動向や、静岡市における現状課題、CCRCに関するニーズ等をふまえ、静岡型生涯活躍のまち (CCRC) のあり方を示す**「静岡型生涯活躍のまち (CCRC)」構想に向けた調査を実施した。**

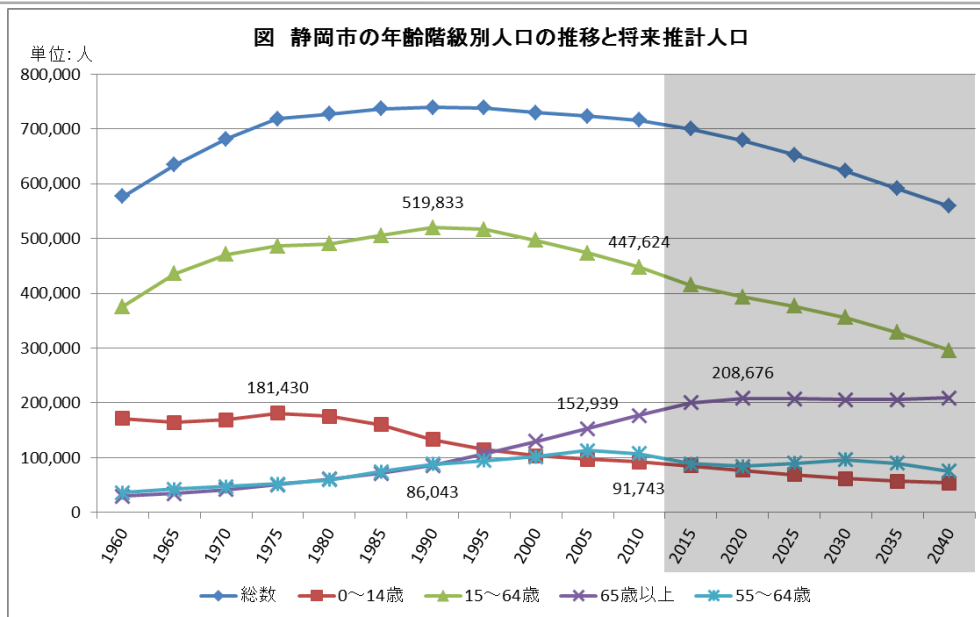
## 2.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題（1）人口動向

### <人口動態>

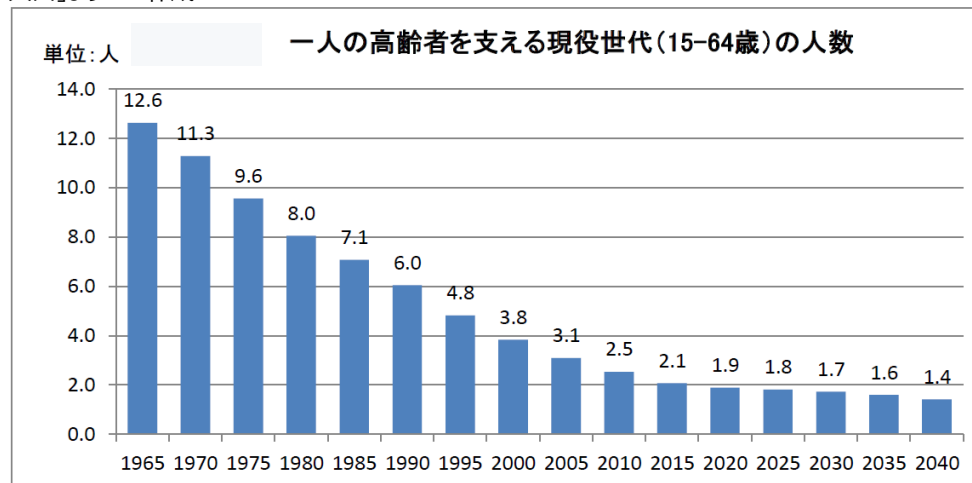
- 静岡市の人口は既に減少局面。特に、年少人口・生産年齢人口の減少が激しい。
- 高齢者数（65歳以上）は2015年まで急速に増加してきた結果約20万人に達したが、今後は横ばいで推移する見込み。

### <現役世代の課題>

- 高齢化の進行が進むと同時に生産年齢人口が減少することにより、社会保障における現役世代の負担増大が懸念。
- 2010年時点では、1人の高齢者に対して2.5人の現役世代（生産年齢人口）であったのに対して、2040年には1人の高齢者に対して現役世代1.4人となる。現在の制度が変わらないとすれば、社会保障など現役世代の負担は、現在の約2倍となる。



出典：静岡県HP、総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」よりMRI作成



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2013年3月推計）」

## 2.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題（2）関連計画

- 前頁の人口動態を受け、静岡市人口ビジョンでは、市の人口維持に向けて「転入増・転出減」を図るターゲットにアクティブシニア層を位置付けている。

### 【人口ビジョンの目的】

地域の持続的な発展のため、第3次静岡市総合計画に掲げた目標「2025年に総人口70万人を維持」の達成に向けて、本市の人口の現状を詳細に分析して将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題について市民の認識を共有することを目指すとともに、今後、本市が目指すべき将来の方向（長期的な人口の将来展望）を提示する。

### 【人口の現状】

- 国、県よりも20年早い1990年から人口減少が始まっている。
- 年少人口、生産年齢人口は減少し、総人口に占める老年人口の割合は高くなっていく。
- 大学進学、就職に係る18歳から22歳の若者の転出が目立ち、主な転出先は、東京圏となっている。
- 女性は、ほぼ全年齢層にわたって、転出超過となっており、主な転出先は、東京圏となっている。

### 【人口減少が経済社会に与える影響】

- 生産年齢人口が減少し、産業の担い手である労働力が不足する。
- 消費の減少に伴い市場が縮小し、提供されるサービス等が減り、生活が不便になる。
- 地域社会の担い手が減少し、公共サービスに係る負担が増加する。

### 【人口減少対策の基本的視点】

- 自然増減については、子どもを2人以上持ちたいとする若い世代の希望実現に取り組む。
- 社会増減については、東京圏をターゲットとして、主に若い女性の移住促進策と市内在住者の流出抑制策に取り組む。

### 【人口の将来展望】

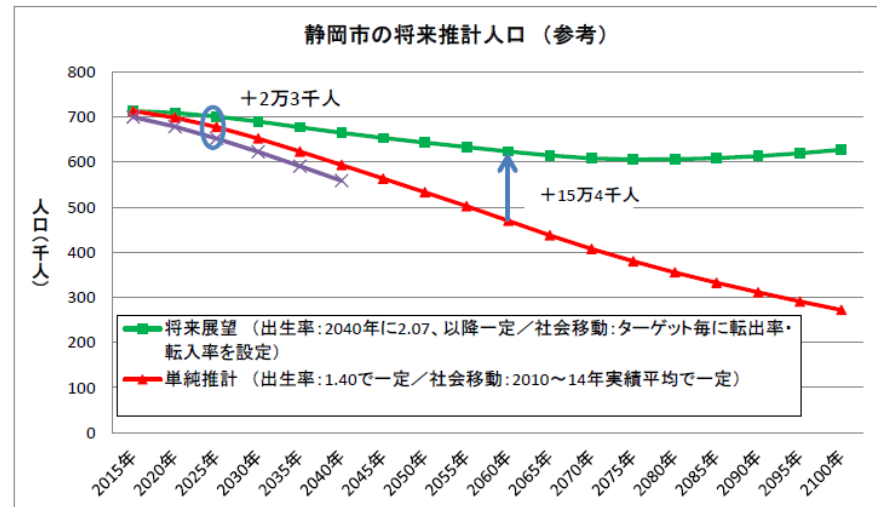
#### ◆長期的な見通し（2060年）

2025年に総人口70万人の維持を達成した上で

人口 47万人（本市推計人口）

- ◎合計特殊出生率 2040年に2.07（2015年1.40/2025年1.70/2030年1.80）
- ◎社会移動 次のターゲットの転入増、転出減を図る。
  - ・若年層（18-25歳、特に女性）
  - ・中堅層（30-40歳代、特に女性）
  - ・アクティブシニア層（55-65歳）。

人口 62万4千人（長期的な見通し）程度まで増加



## 2.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題（2）関連計画

- 人口ビジョンを受け、静岡市総合戦略では、アクティブシニア層の「転入増・転出減」に向けた施策の一環に「健康シニア笑顔いっぱい推進事業」を掲げ、CCRC事業を位置付けている。

【人口目標】 第3次静岡市総合計画に掲げる <b>2025年に</b> <b>総人口70万人を維持</b> を目指す	戦略（基本目標）	静岡市の強み	施策の方向	重点事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○合計特殊出生率 →2040年に2.07</li> <li>○社会移動 →次のターゲットの転入増、転出減を図る。 ・若年層(18-25歳、特に女性) ・中堅層(30-40歳代、特に女性) ・アクティブシニア層(55-65歳)</li> </ul>	<b>1 「まち」の存在感を高め、交流人口を増やす</b> 市区町村魅力度ランキング：70位以内 関連施設・イベント入込客数：9,443千人以上 ぜひまた訪れたいと思う来訪者の割合：60.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな地域資源：大道芸、徳川家康公など</li> <li>・静岡市の日本一（食）：茶、冷凍まぐろ、しらす、さくらえび、わさび、葉しょうが など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度を高める</li> <li>・交流人口を増やす</li> </ul>	①「まちは劇場」推進事業 ②徳川家康公400+（プラス）事業 ③観光交流活性化推進事業
<b>【未来市民】</b> 従来の取組だけでは、市民になりえなかった方々を「 <b>未来市民</b> 」と総称し、増やしていく。 ①これから生まれてくる市民 出生数を増やす・出生率を高める ②これから移住してくる市民 市外からの転入者を増やす ③これからも住み続ける市民 市外への転出者を減らす	<b>2 「ひと」を育て、「まち」を活性化する</b> 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合： 小学校42.0%以上、中学校32.0%以上、高等学校51.0%以上 県内のCOC+参加大学における県内就職率：各大学10%以上向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人柄がのんびりしている</li> <li>・高校年代の県外大学進学希望者のUターン意向は37.8% など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への愛着の醸成</li> <li>・市内産業が必要とする人材を育成する</li> </ul>	①しずおか学生等就職サポート事業 ②産学官連携による人材育成COC+推進事業
<b>【戦略の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIにより客観的な視点から評価し、PDCAサイクルで見直しや改善</li> <li>・必要なデータ等について、調査を行いKPIの見直しや追加を検討</li> </ul>	<b>3 「しごと」を産み出し、雇用を増やす</b> 企業立地件数：85件(2015-2019年計) 有効求人倍率： 静岡 全国値+0.3以上、清水 全国値以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市の日本一（産業）：まぐろ類缶詰、プラモデル、エアコンディショナ など</li> <li>・清水港、駿河湾といった海洋資源</li> <li>・東名、新東名、中部横断自動車道など交通インフラの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内経済の活性化</li> <li>・市内の雇用創出</li> </ul>	①新IC周辺等産業集積推進事業 ②企業立地推進・本社機能移転事業 ③海洋・エネルギー産業推進事業 ④大手製造事業所等支援事業
	<b>4 移住者呼び込み、定住を促進する</b> 社会移動増：6,010人（2015-19年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山・川・海など自然が豊か</li> <li>・気候が温暖</li> <li>・新幹線で東京から1時間の立地 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市への移住を促進</li> <li>・移住者受け入れの核となる人材を育成</li> </ul>	①移住促進に向けた情報発信事業 ②安心移住に向けた受入体制等充実事業 ③中山間地域への移住に向けた支援事業
	<b>5 女性・若者の活躍を支え、子育ての希望をかなえる</b> 合計特殊出生率：1.57 子どもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合：65.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏と比べて子育て環境が充実している</li> <li>・市内大学生による自主的な地域活動が盛ん など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生数を増やす</li> <li>・社会全体で子育てする環境をつくる</li> </ul>	①「しずおか女子きらっ☆」推進事業 ②「わかものまち」推進事業 ③静岡あったか家族応援事業
	<b>6 時代に合った「まち」をつくり、圏域の連携を深める</b> 週4日以上、外出している高齢者の割合：67.5%以上 総延床面積：個別施設計画策定時に設定 津波避難施設のないエリア：0エリア 建築物の耐震化：公共建築94%、民間住宅93% 静岡地区 歩行者通行量：7,010人 清水地区 滞在時間：3.0時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命が長い</li> <li>・JR静岡駅周辺に都市機能が集積したコンパクトシティである</li> <li>・アセットマネジメントに先進的に取り組んでいる など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿の推進</li> <li>・総資産量の適正化</li> <li>・巨大地震に対する減災の推進</li> <li>・コンパクトなまちづくりの推進</li> </ul>	①健康シニア笑顔いっぱい推進事業 ②アセットマネジメント推進事業 ③静岡中部圏広域連携推進事業

## 2.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題（2）関連計画

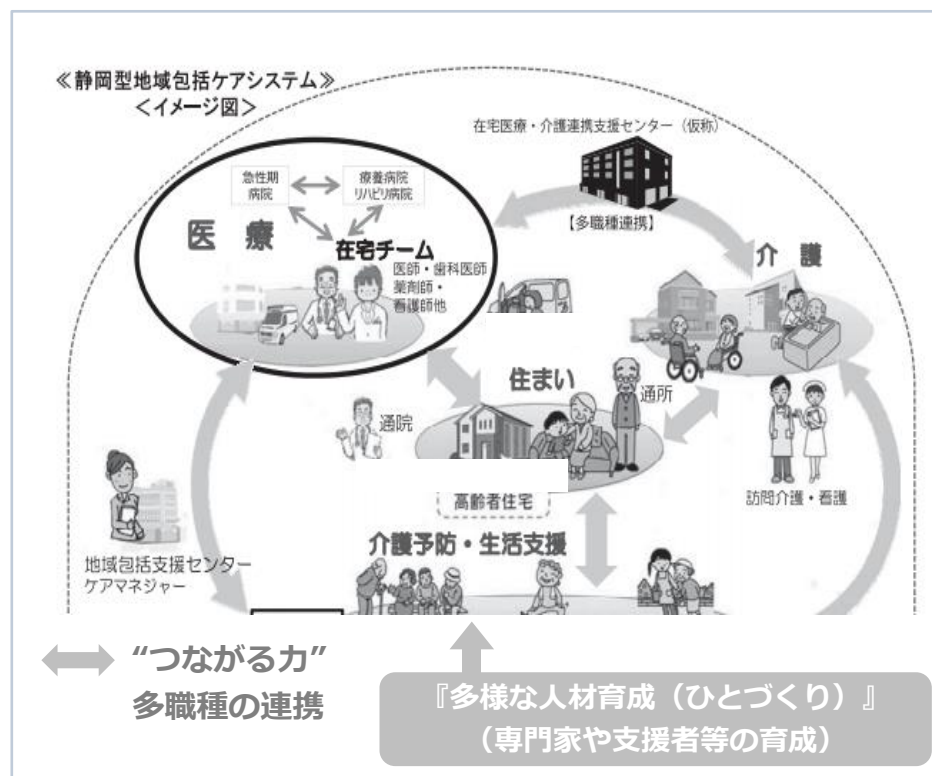
- 静岡市第7期高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画書において、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を重点的な取り組みとして位置づけ、推進している。

### 「健康長寿のまち」実現のための地域包括ケアシステム

医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供

①つながる力：多職種の連携&医療と介護の連携

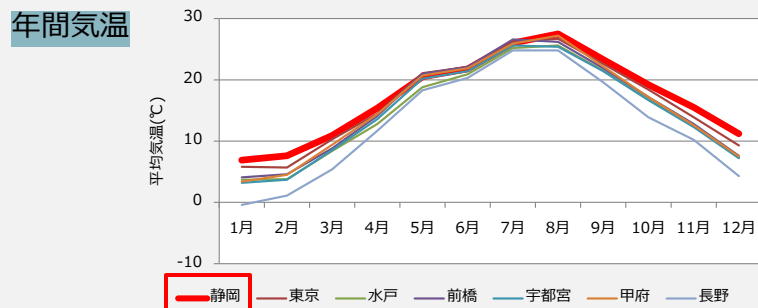
②多様な人材づくり&元気な高齢者が活躍できる取組：システム維持・発展のために。



## 2. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題 （3） 静岡市の特性

### 1. 自然環境・立地条件

- 東京から新幹線で約1時間という恵まれた立地条件。首都圏の地方移住・二地域居住の競合地域に比べても優位性がある。
- 首都圏の地方移住・二地域居住の競合地域に比べても、**年間を通して暖かく、また風もない穏やかな気候**。特に冬場は顕著。



### 2. 健康の基盤

- **健康寿命が政令指定都市で第2位。**
- S型デイサービスをはじめ、**地域ミニデイサービス**として、在宅の虚弱高齢者、単身生活高齢者、家にとじこもりがちな高齢者等の生きがいの創出、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることを目的とした活動を**20年実施してきた実績に基づく基盤**がある。

S型デイサービス



出典：静岡市社会福祉協議会

### 3. 地域資源

- 静岡市内には、静岡駅周辺中心市街地に**多くの大型商業施設が立地**し、**商店街も活気のある全国有数の商業拠点**である。
- **市内には5大学が立地**、多様な学科が設置されている。

市内にある大学 (短大含む)	市内設置学部
静岡大学	人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部
静岡県立大学	薬学部・食品栄養科学部・国際関係学部・経営情報学部・看護学部
静岡英和学院大学	人間社会学部
常葉大学	教育学部、外国語学部、造形学部、法学部、健康科学部
東海大学	海洋学部

### 4. 地域活動

- 静岡市内の**自治会加入率は84%**（平成25年）と高い水準にある。活発な自治会活動は、防犯や防災、清掃、お祭りなど、地域の人々の安全・安心、快適な暮らしの基盤となっている。そのほか、S型デイサービスをはじめ**地域力が強い**。
- 中心街“おまち”の賑わいを目指す「**I Loveしずおか協議会**」などの活動の基盤があり、ダンス、音楽、大道芸、フラッシュモブなど、さまざまなパフォーマンスやオープンカフェを開催していく**まちは劇場プロジェクト**も進行中。



アジア最大の大道芸フェス  
「大道芸ワールドカップin静岡」

出典：大道芸ワールドカップin静岡 HP

これらの地域資源を活かしながら静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を実現する



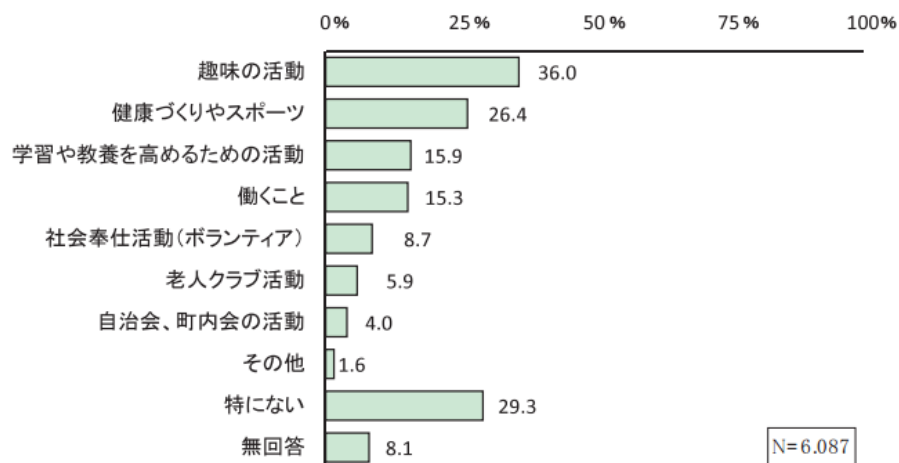
## 2. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題

### （４）静岡型生涯活躍のまち（CCRC）に対するニーズ

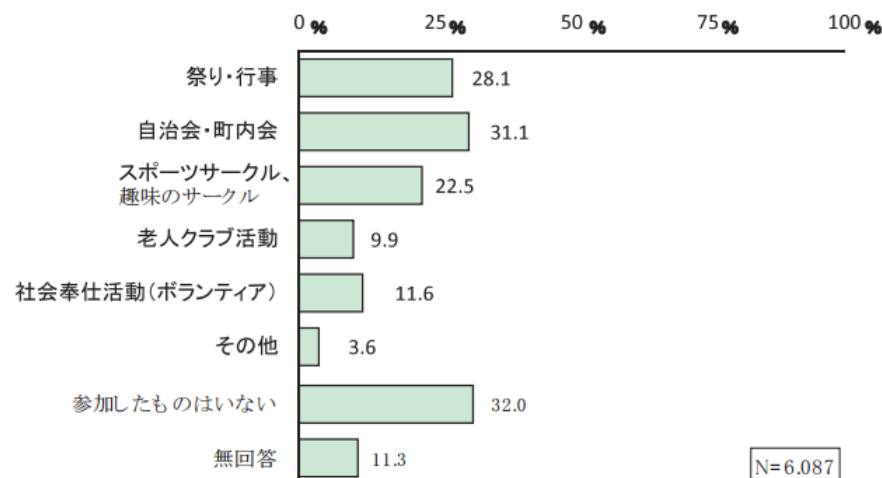
#### 1) 市内高齢者のニーズ

- 市で実施した高齢者実態調査等より、
  - 高齢者の活動のニーズは、「趣味の活動」、「健康づくりやスポーツ」、「学習や教養を高めるための活動」「働く」など。  
**「生きがいづくり」全般へのニーズは高い。**
  - 現在参加している地域活動としては、**自治会・町内会、祭り・行事**といった居住エリアに根差した活動が主である。

今後やってみたいと思うものは何ですか。（〇はいくつでも）



この1年間に地域活動に参加したことがありますか。（〇はいくつでも）



## 2. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）を取り巻く現状・課題

### （４） 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）に対するニーズ

#### 2) 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）アンケート調査による傾向

静岡市への移住等のターゲット層	競合と比較した静岡市の魅力
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 静岡県出身者は移住先に静岡県を選択する割合が高い。さらに、東京圏居住者の約4分の1は移住等に関心あり、希望するエリアの上位に静岡県がランクイン（北海道・沖縄、長野に次ぐ）。さらに、静岡県に移住等の関心がある人の県内の候補地では、熱海伊東地域などが最も人気があるものの、約3割は静岡市内にも関心がある。</li> <li>☞ 東京圏在住者で、静岡市への移住等に関心を示す人が多い。</li> <li>■ 他地域と比較した静岡市に移住を希望するアクティブシニアの特徴として、高所得者層の割合、女性の割合が高い。</li> <li>■ 静岡県出身者＞出身以外、男性＞女性で移住等への意向高い。地方移住では男女の意向差が大きいものの、二地域居住・長期滞在であれば男女の意向の差が少ない。</li> <li>☞ 移住のハードルが低いUターン層がねらい目。また、地方移住は女性にとってハードルが高いので、まずは女性にも関心を持ってもらいやすい二地域居住・長期滞在を推進、静岡市の魅力を伝えていくことが有効。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 静岡市を志向する移住希望者は、温暖な気候、都心へのアクセス、交通の利便性のほか、街のイメージなどを重要な選定基準にしている。一方で、山・海などの自然環境などについては重視度が低い。</li> <li>☞ 静岡市は都市と地方のバランスのとれた暮らしを求める人にとって魅力（女性・高所得者層 など）</li> <li>■ 静岡市を志向する移住希望者の実現したいライフスタイルの特徴として「生涯学習への参加」「自分のスキルを地域貢献に活用したい」というニーズが他地域より強い。</li> </ul>

### 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）のあり方

静岡型生涯活躍のまち(CCRC)に求められるコンセプト	静岡型生涯活躍のまち(CCRC)の推進に向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療介護・見守りサービスといった日々の生活支援機能にプラスして、しごとやボランティア、生涯学習といった生きがいの創出といった機能が求められている。</li> <li>■ 静岡通の静岡県出身者、静岡市・周辺市町村居住者は、地域資源と連携したタウン型CCRCにニーズ。具体の機能も介護予防、健康づくりなど、日々の生活支援機能が重要。</li> <li>■ 東京圏在住の地方移住希望者はリゾート的なエリア型にニーズ。具体の機能も居住者・来街者が一緒に楽しめる施設、観光・リゾート、一時居住用の賃貸マンションなど、リゾート・娯楽的なニーズがみられる。</li> <li>☞ 「静岡をよく知っている層」、「静岡に縁のゆかりがない層」により、CCRCのターゲットを変える必要あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CCRCの認知度は数%。</li> <li>☞ 認知度向上のためのPR活動が必須である。</li> <li>■ 東京圏在住の地方移住希望者に、特にお試し居住や事前相談サービスのニーズ高い。</li> <li>☞ 2地域居住・長期滞在前の支援サービスから地方移住へシフトさせていく。</li> </ul>

### 3.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）とは （1）目指すべき姿

---

- 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）構想は、単に高齢者のための福祉施設・サービス拠点を整備するという発想ではなく、高齢者をはじめとする居住者・周辺住民等が一体となり、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送ることができる「コミュニティづくり」である。
- そのため、
  - 東京へのアクセス、温暖な気候、病院・商業・大学などの豊富で高水準な都市機能、世界遺産や海・山などのアクティビティに囲まれた環境の中で、地域内での「まちなか」への住み替え者や首都圏からの移住者が、健康時から介護・医療が必要となる時期まで、継続的に生涯学習や社会活動等に参加できるコミュニティを形成し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けられるようなまちづくりに取り組む。
  - 「人のつながりと地域力が強い」、「元気な高齢者が多い」という本市の特徴を活かした静岡型地域包括ケアシステムとの連携を図る。

### 3. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）とは （2）地域包括ケアシステムとの関係

- 「静岡型生涯活躍のまち」の目的は、**地域住民にとってよりアクティブに、生きがいを持って暮らすことを目的としたものであれば、地域包括ケアでは主な対象とはならない属性・取り組みについても、コミュニティ単位で必要な機能・サービスとして整える**ことである。
- 地域包括ケアシステムの構築については、かねてより継続的に取り組まれていることから、本調査では特にこの「+αの要素」に着目して推進の方向性を検討した。

#### 静岡型地域包括ケアシステム

住まい

- ・一般住宅(+バリアフリー)
- ・ケア付き高齢者住宅

- ・高齢者グループリビング
- ・高齢者シェアハウス

医療

- ・在宅医療・介護連携
- ・しぞ〜かでん伝体操
- ・認知症カフェ

- ・見守り・生活支援等暮らしサポートサービス
- ・医療・介護・福祉のICT化

介護

- ・自治会
- ・地区社協
- ・老人クラブ
- ・生活支援コーディネーター

- ・生活相談サービス

介護予防

生活支援

- ・S型デイサービス
- ・シニアサポーター事業
- ・生活支援ボランティア

- ・シルバー人材センター
- ・生涯学習
- ・習い事

#### 静岡型生涯活躍のまち（+αの要素）

- ・多世代居住(高齢者・学生シェアなど)
- ・お試し住居
- ・別荘・セカンドハウス

- ・スポーツ・フィットネス・サークル

- ・たまり場・カフェ
- ・地域内サークル
- ・地域交流拠点
- ・運営推進機能

- ・大学連携講座・高齢者大学
- ・スキルを活かした社会活動
- ・プチ就労

- ・活動成果の発表
- ・まちづくり、イベント参画
- ・コミュニティビジネスの立ち上げ

居住

健康・医療・  
介護

コミュニティ

社会参加

多世代交流  
・協働

### 3. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）とは （3） 移住パターン

地域包括ケアシステムを土台としつつ、高齢者が豊かに生きがいを持って暮らすことができるコミュニティづくりを推進していくことについて、各種ニーズ調査等の結果をふまえ、以下の3つの層について典型的な移住パターンを設定した。

#### ● 既存住民の安全安心な定住

現在および将来の高齢者が、現在の地域に暮らし続ける

<キーワード> 既存の住宅地、高齢期も安全安心の医療・介護・生活環境、大学等の連携による生きがい創出

#### ● 静岡市内からの希望に応じた住み替え

静岡市内に住む現在および将来の高齢者が、希望に応じて、暮らしやすさ、安全安心、生きがいなどを求めて、まちなかの商業・賑わい・病院・大学などが充実したエリアへ住み替える。

<キーワード> 再開発、便利で安心なまちなか（充実した商業、高度な医療機関、大学など）

#### ● 首都圏からの移住

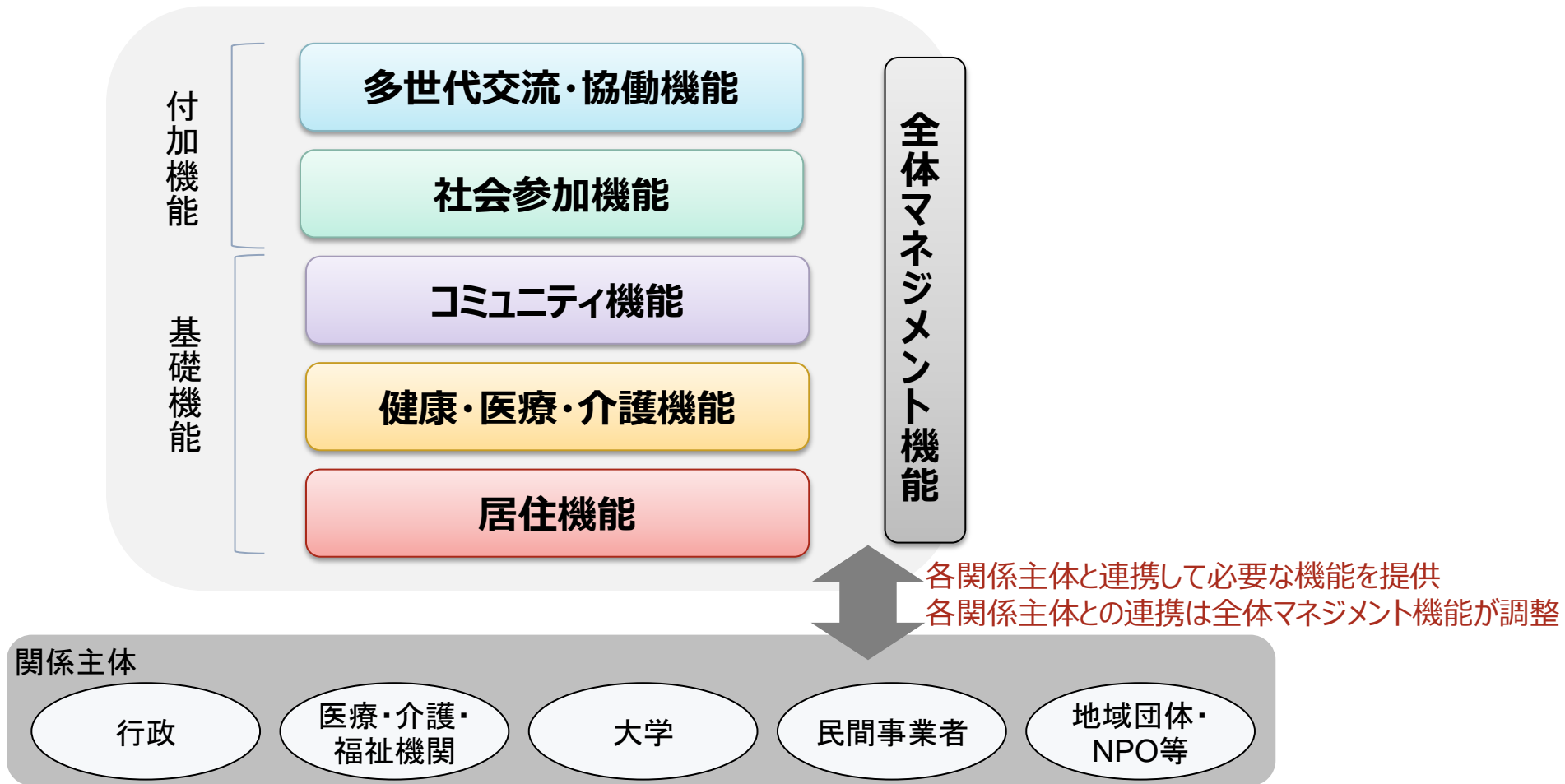
静岡市は東京から新幹線で1時間程度、温暖な気候、富士山の景勝地、海と山に囲まれた自然豊かな土地である。また、静岡駅前の中心市街地は、静岡圏の中心拠点として機能し、全国でも有数の商店街を有している。このように、都市と地方の両側面をもったバランスのとれた静岡市を好む首都圏在住の地方移住希望者を積極的に誘致する。

なお、首都圏とのアクセスを活かし、初期は二地域居住や長期滞在からはじめ、徐々に完全に移住をするような段階的な移住も想定する。

<キーワード> 温暖な気候、豊かな自然、世界遺産・富士山、歴史・文化、地域イベント

## 4. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の機能・サービス要件 （1）基本的な機能構成

- 居住者のより良い生活を実現するためには、地域包括ケアの取り組みで推進している「居住機能」「健康・医療・介護機能」に加え、「コミュニティ機能」、「社会参加機能」、「多世代交流・協働機能」を重視する。
- さらに、これらの機能が個々の居住者に適切に提供されるよう総合的な推進をする全体マネジメント機能を有することが求められる。



## 4. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の機能・サービス要件（2）コンセプト

国の示す生涯活躍のまちのイメージ、前頁の基本的な機能構成に基づき、静岡市の特性や関係主体との連携可能性をふまえ、以下のようにコンセプトを整理した。

### **(1)居住機能**

- 主に首都圏・市内からの住み替えによる移住者のため、シニア向け住宅や、二地域居住者・長期滞在者向けの別荘・バケーションレンタルなどを新規に整備する。
- 地域内の既存ストック（空き家、空きアパートなど）を活用し、高齢者と学生など、多世代が交流する新たな住まいを提供する。
- 主に首都圏からの移住希望者が「お試し居住」ができるよう、新規整備の住宅や既存ストックを活用し、ゲストルームを整備、運営する。

### **(2)健康・医療・介護機能**

- 介護予防・認知症予防、健康維持・増進のための支援や、いざという時に十分な医療を受けることができるよう、地域の介護・医療の提供状況もふまえて、体制を整える。
- 従来から静岡市で展開されている「でん伝体操」ほか、民間事業者による健康サービスなど、要介護化しないためのサービスを充実させる。

### **(3)コミュニティ機能**

- 趣味などの活動、地域イベントへの参画を通じて、地域の人々と日常的に触れ合う機会を多く提供する。

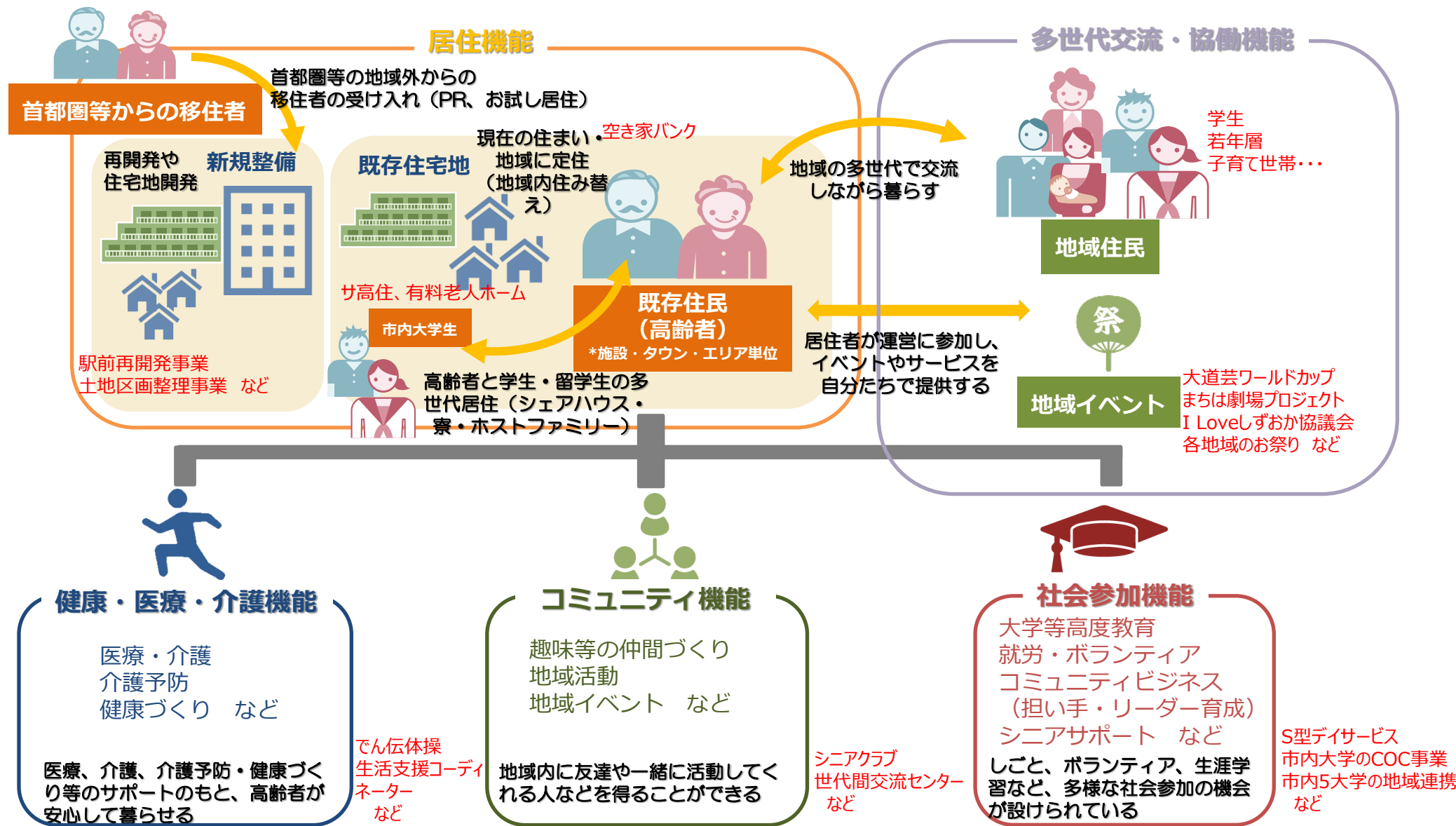
### **(4)社会参加機能**

- 大学と連携したプログラムへの参加や地域活動への参加など、仕事、ボランティア、生涯学習など、多様な社会参加の機会を提供する。担い手の育成に限らず、自らが活動やビジネスを起こすリーダーを育成する。

### **(5)多世代交流・協働機能**

- 年代や既存住民・移住者によらず、多様な人々が地域の活動、イベント等への参画し、地域での暮らしを豊かに感じるとともに、地域の活性につながるような取り組みに発展させる。

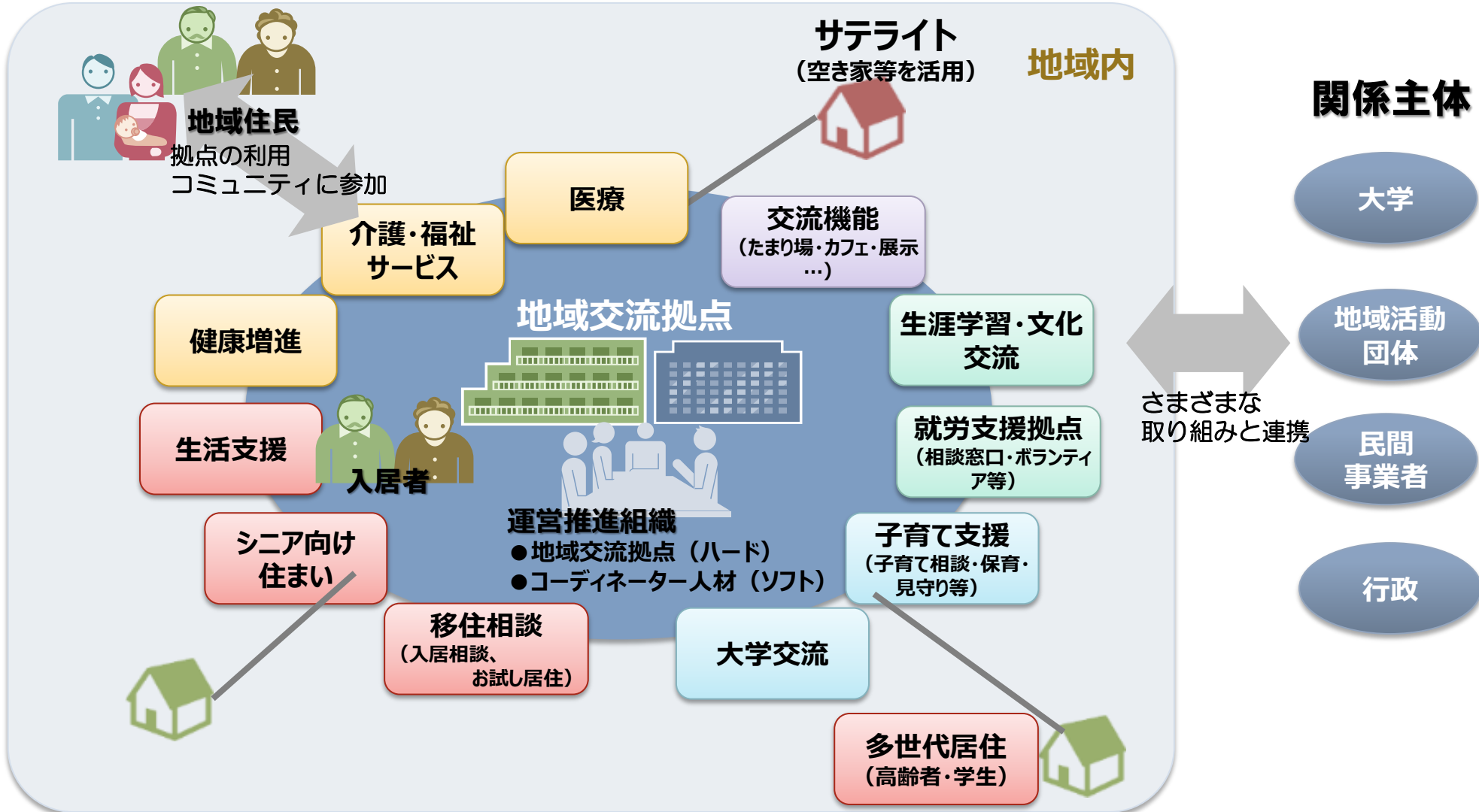
# 4. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の機能・サービス要件 （3）コンセプト関係図





## 4. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の機能・サービス要件 （4） 地域交流拠点のあり方

- 生涯活躍のまち（CCRC）の実現イメージにより、地域交流拠点にそろえるべきサービス、運営手法は異なると考えられるため、後述の各類型にて詳細を示す。



<基本的な機能構成>



## 4.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の機能・サービス要件 （5） 持つべき機能・サービス

- 前述の機能について、具体的サービス（例）を以下に示す。これらについては、生涯活躍のまちを実現するエリアの特性、住民ニーズおよび活用できる地域資源の状況により、導入すべきサービスを選定していく必要がある。

居住機能	サービス付高齢者住宅等、シニア向けの住宅整備	⇒「高齢者・学生による多世代居住の提供イメージ」	
	シニア対応したリノベーション（バリアフリー、シェア・グループリビング 等）		
	高齢者・学生による多世代居住（シェアハウス、ホストファミリー制度 等）		
	生活支援サービス		
	日用品の買い物支援（移動販売、宅配など）		—
	生活相談窓口（生活支援コンシェルジュ）		
	入居の事前相談サービス		
	「お試し居住」の入居手配サービス		
	「お試し居住」のためのすまい・部屋		—
	入居に当たっての契約窓口		
住宅相談窓口（不動産紹介／住み替えコンシェルジュ）	⇒「地域内移動サービスの提供イメージ」		
空き家活用マッチング			
バス停などの地域交通拠点、地域内移動サービス			
健康・医療・介護機能	介護・福祉サービス	—	
	医療（病院・出張診療所・在宅医療等）		
	出張診療所や在宅医療・介護連携支援センター		
	入居者に合わせた健康支援サービスの作成		
コミュニティ機能	高齢者向けジムなどの健康増進サービス	—	
	入居者と地域住民が交流できる「たまり場・カフェ」 住民用作品展示スペース／ギャラリー	⇒「入居者と地域住民が交流できる「たまり場・カフェ」&住民用作品展示スペース／ギャラリーの提供イメージ」	
社会参加機能	生涯学習・文化交流	⇒「生涯学習・文化交流の提供イメージ」	
	コワーキングスペース	—	
	ボランティアバンク	—	
	高齢者向け就労支援相談サービス		
	シルバー人材センター		
NPO支援窓口	—		
多世代交流・協働機能	大学サテライトキャンパスなどの教育機関	⇒「市内5大学合同キャンパスの提供イメージ」	
	子育て相談窓口サービス	—	
	保育・学童サービス		
	児童館 病児保育サービス		

## 【参考】高齢者・学生による多世代居住の提供イメージ

- 県外出身で一人暮らしの大学生と、地域の高齢者との交流を促進するため、大学周辺の空室が目立つ賃貸アパートや市営住宅などを活用し、多世代が共に住まうシェア住宅を大規模に展開する。
- シェア住宅には、共有スペースを設け、学生と高齢者の交流・見守りが生まれる仕組みとする。
  - 東海大学での展開例：共有スペースに共同水槽を設け、海洋学部学生の知識を活かしながら、高齢者・学生と一緒に海水魚の飼育に取り組むなど
- 高齢者のケアや地域の活動に参加すると家賃の学割が受けられる、市内医療・介護施設と連携するといった、高齢者・学生にとってインセンティブとなる工夫が必要となる。



### 例：NAGAYA TOWER

- NAGAYA TOWER（鹿児島市上之園町）は、江戸時代の長屋のように、住人のみんなが知り合いで、できる事は自分でしながらも、互いにさりげなく手を貸しあって暮らしていくことを目指す施設。
- 建物はVの字型で、住人同士顔見知りになりやすい設計。共有スペースがふんだんに設けられる（例：みんなのLDK）。ホスピスとの提携や、家賃の学割（高齢者のゴミだしや買い物などの日常生活のお手伝い）といったインセンティブの付与により、高齢者と若者世代が居住しやすい空間づくりを実現。



共有スペース（みんなのLDK）

## 【参考】地域内移動サービスの提供イメージ

- 静岡市においては、主要駅から放射状に「しずてつジャストライン」が基幹路線として充実している。しかし、地域内の移動手段については必ずしも十分とは言えず、今後、アクティブなシニアが地域内で安心して活躍しつづけるためにも、地域交流拠点、病院、商業、大学等を結ぶ地域内のネットワーク整備は重要な課題となる。
- 静岡市内の地域公共交通の整備・運営形態としては、以下のような選択肢がある中で、地域の需要、連携可能な地域資源などを踏まえて、選択していく必要がある。

運営主体	仕組み	適用条件
民間事業者 (静岡グループ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基幹路線に加え、地域内ネットワークについても民間サービスとして提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間事業者においては、需要の確保（採算性）と人材不足が課題。当該地域での需要が十分あることが前提。</li> </ul>
地域住民・ 団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CCRC単位、自治会単位など、特定のコミュニティを対象に、コミュニティの資金を活用して特定路線として提供。利用者負担は、世帯一律負担、または無償サービス。</li> <li>● 運営自体は、民間事業者等への委託など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域内での合意が必要。</li> <li>● 市内の交通事業者OB等の再雇用、古い車両の活用など、運営コストを下げる工夫も想定。</li> <li>● ICT活用により、オンデマンド形態など、運営の効率化が必要。</li> </ul>
地域内の他 機関連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学、商業施設、病院、公共施設など、既存の集客施設等が提供している既存の移動サービスと連携、共同運営をする。 事例) デイサービス送迎車、スクールバスの日中の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各施設の需要パターンに配慮が必要。 (例:大学のバスは朝の通学時間帯がピーク)</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスとして提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内の他の地域と比べてバランスが取れることが必要。</li> </ul>

## 【参考】入居者と地域住民が交流できる「たまり場・カフェ」&住民用作品展示スペース／ギャラリーの提供イメージ

- 地域の人が集まって、多世代交流、高齢者や障がい者、子育ての支援、まちづくりなどに取り組む場をつくる。コミュニティカフェを高齢者や学生が運営する、住民が利用できるギャラリースペースを確保するなどして、気軽に集える地域交流拠点をめざす。
- 有東団地では、空き店舗を交流拠点として活用しており、市営住宅などの既存ストックの空きスペースを活用し、展開していく。

### 有明 なごみ（静岡市駿河区）

- ・駿河区にある市営住宅「有東団地」の一角の一階にあった元店舗を、お年寄りたちが触れ合えるサロンに改装し、平成27年四月に開設されたもの。
- ・有明二区自治会が主体となって運営していて、月曜から金曜まで毎日五時間利用可能。一日平均十一人のお年寄りが利用している。
- ・団地の最盛期には21棟に520世帯1200人が暮らしていたが、現在は670人に減少し、高齢者約280人が一人暮らしをしている。高齢化対策として、多くの人立ち寄れるよう市や地区の社会福祉協議会の協力を得て団地内に活動場所を設けた。団地の有志がボランティアとして来場者の世話を焼き、散髪デー、介護相談日なども設けている。



## 【参考】生涯学習・文化交流の提供イメージ

- 高齢者を中心として、生涯学習等で得られた知識を、地域の活動へつなげてもらうため、平成28年度から開始する「静岡シズンカレッジ こ・こ・に」の取り組みと連携する。
- 生涯学習で取り上げるテーマとしては「静岡市ならではの題材」「静岡市にある大学の専門ならではの題材」であることを重視し、首都圏移住意向者などにとって、「静岡市だからこそ得られる学び」を提供する。
  - 例) 静岡県立大学「しずおか学」、東海大学海洋学部「海上で考える環境：望星丸洋上セミナーなど」

### 例：静岡シズンカレッジ こ・こ・に

- 市民と行政との協働によるまちづくりを担うシズンシップに富んだ人材の養成を目指して、平成28年に新たにスタートした仕組み。
- 社会事業家や地域リーダーを養成する総合課程と、福祉や環境など分野別に人材を養成する専門課程を設定している。
- 平成28年度は10講座を実施予定。
- 学んだあとには実践活動につなげるため、複数受講後には「静岡まちづくりマスター認定制度」がある。活動の立ち上げや継続を支援する仕組みを利用できる、各市附属機関等委員応募時に副申を受けられる、活動の場として使用する場合、各生涯学習施設や市民活動センターの使用料が減免されるといったメリットを用意している（平成28年度中に整備）

### プログラム

No.	目的	講座名
1	地域で活躍するリーダーを目指すあなたに	地域デザインカレッジ コミュニティコース
2	社会のためにすべき事を見つけたあなたに	地域デザインカレッジ プロジェクトコース
3	駿河区の自治会・町内会を支えるあなたに	駿河区地域の人材養成事業 駿援隊
4	生きがいを見つけたあなたに	地域支え合い人材養成講座
5	一歩踏み出したい女性に	アイセル女性カレッジ
6	教師を目指すあなたに	しずおか教師塾
7	子育てに関わりたいあなたに	子育てサポーター養成講座
8	環境を守りたいあなたに	環境大学
9	文化財を守りたいあなたに	文化財サポーター入門講座
10	お茶に関わりたいあなたに	静岡市お茶の学校

出所) 静岡市HPより [http://www.city.shizuoka.jp/745\\_000055.html](http://www.city.shizuoka.jp/745_000055.html)

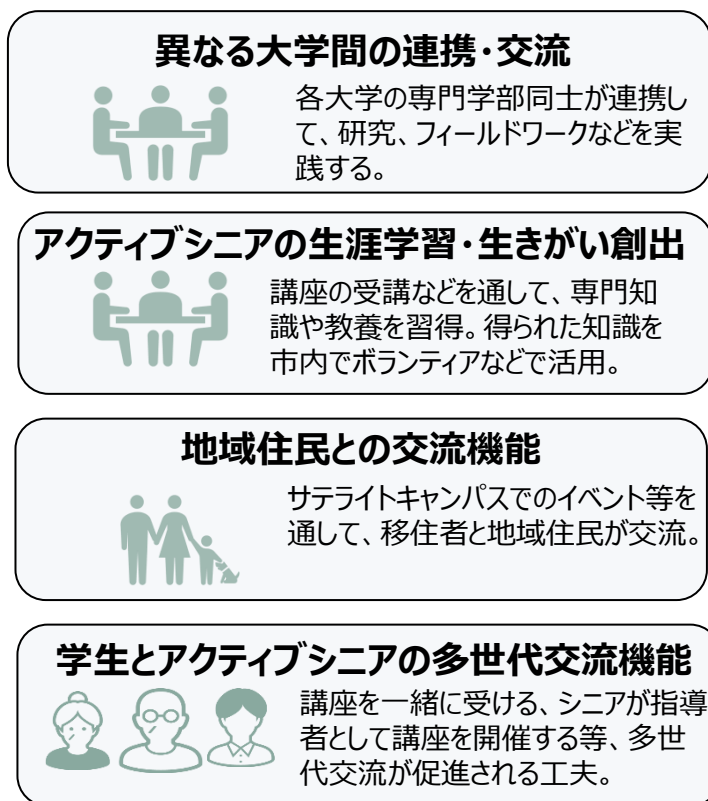
### 基本方針

- (1) ビジョンを描く「〈こ〉構想力」を育みます  
未来に自分は何を実現させたいのかというビジョンを明確にすることが必要です。
- (2) ビジョンの実現に向けて力強く進む「〈こ〉行動力」を育みます  
今日から自分がアクティブに前向きに活動することが大切です。
- (3) 共に行動する仲間を引きつけ魅了する「〈くに〉人間力」を育みます  
シズンシップをもつリーダーに不可欠なのが、人間としての魅力です。



## 【参考】市内5大学合同キャンパスの提供イメージ

- まちなかで静岡市内の異なる大学間の学生同士が交流する「5大学合同キャンパス」をつくることで、研究や地域活動がより高度に、活発になる。
  - 例：静岡大学農学部「農」・東海大学海洋学部「海産物」と静岡英和学院大学短期学部「食物学科」による「食品加工」を組み合わせ、静岡市産のPR商品を開発するプロジェクト など
- また、合同キャンパスでは、シニア向け講座やイベントの開催することで、大学以外の場でもアクティブシニアの生涯学習の機会・生きがい創出、地域住民との交流、学生とアクティブシニアの多世代交流が可能になる。



## 5.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の類型 （1）3つの類型

- 静岡市は、その地理的特性等の影響もあり、地域によって特性・課題が異なる。
- そのため、生涯活躍のまち（CCRC）の実現にあたっては、地域特性に応じたコンセプト、実現の姿などを設定する必要がある。
- 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）においては、以下の3つの類型を想定する。

類型	想定地域イメージ	生涯活躍のまち（CCRC）構築イメージ	コンセプト
タウン型	静岡市内中心部にやや近い、既成市街地	交流拠点施設の新規整備と既存施設との連携による生涯活躍のまち（CCRC）構築	・既存ストックを最大限活用した地域密着型CCRC
エリア型	自然環境豊かなリゾート地	未利用地内への生涯活躍のまち（CCRC）機能の新規整備と既存施設との連携による生涯活躍のまち（CCRC）構築	・エリア開発と豊富な地域資源を活用した移住者向けCCRC
施設型	静岡市内中心部の利便性の高い立地で、中高層の建物がたちならぶ	市街地再開発事業等による新規施設へ生涯活躍のまち（CCRC）モデル施設の構築	・駅近再開発によるまちなか居住推進型CCRC



## 5. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の類型（2）タウン型

### タウン型の特徴（例）

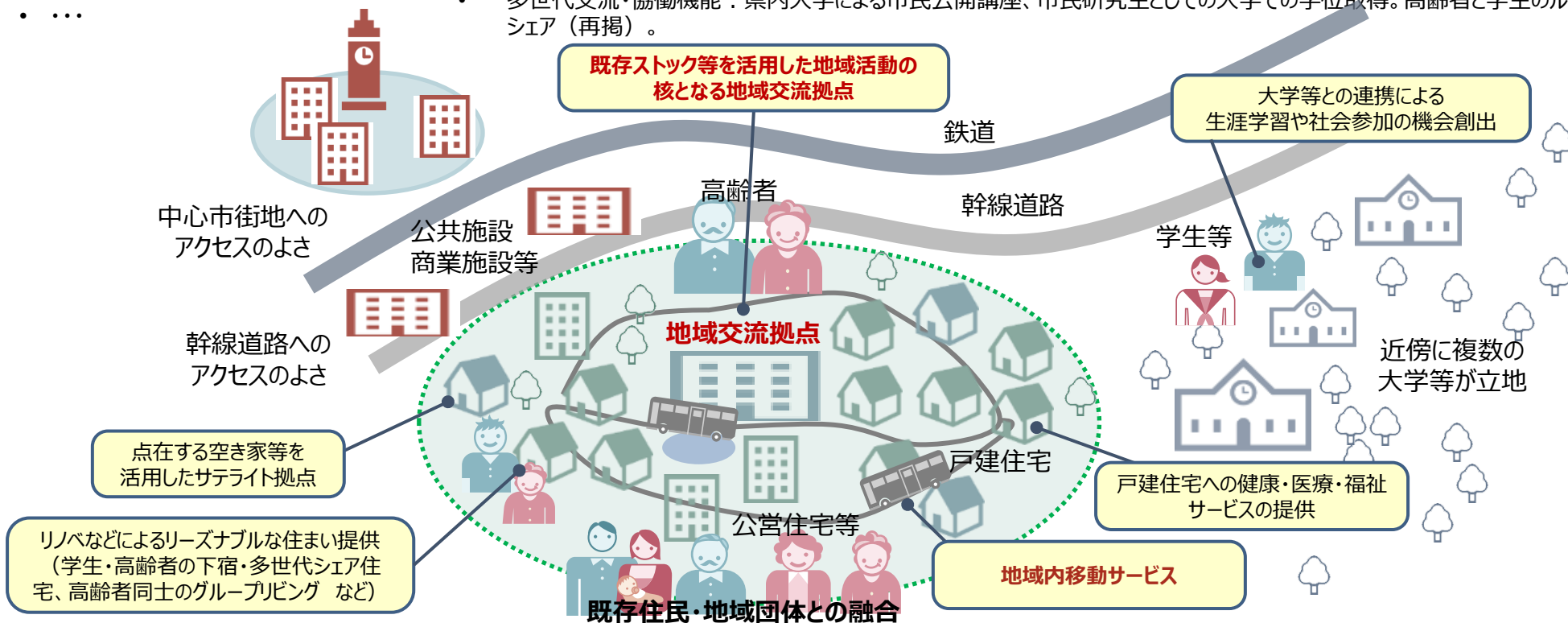
- 中心市街地や幹線道路等へのアクセスのよさ
- 一定以上の人口規模
- 閑静な住宅街（戸建住宅や公営住宅の集積）
- 公共施設の立地（区役所、生涯学習センター、図書館、体育館等）
- 近傍に複数の大学等が立地
- 活発な地域コミュニティ活動
- …

### 【基本方針】

- **コンセプト**：既存ストックを最大限活用した地域密着型CCRC
- **主なターゲット**：地域内住民および地区内・市内・周辺市町村からの住み替え、Uターン層の移住

### 【展開の方向】

- **居住機能**：既存戸建て住宅・公営住宅を活用してリーズナブルに多様な住まい形態へリノベーション（学生・高齢者の下宿・多世代シェア住宅、高齢者同士のグループリビング など）
- **健康・医療・介護機能**：既存のNPO・地域団体の活動、大学・民間事業者等の連携、ICT活用等による、安全安心な健康・医療・介護サービス、**地域内移動サービス**、**生活支援サービス（買い物・家事支援）**、ワンストップサービス
- **コミュニティ機能**：地域活動の核となる地域交流拠点を地域内の**既存ストック活用**（耐震性等が確保された公共施設空き施設、空き家等の賃借・譲渡）により配置、さらに、**エリア内にサテライト拠点（ミニ地域交流拠点）**を分散して配置
- **社会参加機能**：既存の公民館、高齢者向け就労支援などについて、サテライト拠点を使って活性化。
- **多世代交流・協働機能**：県内大学による市民公開講座、市民研究生としての大学での学位取得。高齢者と学生のルームシェア（再掲）。



# 5. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の類型（3）エリア型

## エリア型の特徴（例）

- ・ 静岡市の中心市街地などから離れ、海や山など自然環境豊かな立地
- ・ 人口規模が少ない
- ・ 周辺には観光資源が隣接する
- ・ 近傍には大学・スポーツ施設
- ・ 災害リスクが低い

## 【基本方針】

- ・ **コンセプト**： **エリア開発と豊富な地域資源を活用した移住者向けCCRC**
- ・ **主なターゲット**： 東京圏在住（特に富裕層）の移住（二地域から完全移住への段階的移住に対応）

## 【展開の方向】

- ・ **居住機能**： 市内でも随一の豊かな自然・暮らしやすい気候を活かし、東京圏等からの移住を促進するリゾートタウン。面開発では高齢者世帯の暮らしやすさを追求した住まいを提供。地縁のない東京圏等からの移住者のために、**開発エリア周辺の空き家を使ったお試し居住の推進**。
- ・ **健康・医療・介護機能**： 最先端のICT活用などを含む高度な医療・介護・福祉サービス、利便性の低さを克服した生活支援、地域内無償移動サービス等の提供を重視。
- ・ **コミュニティ・社会参画・多世代交流・協働機能**： 海・山などアクティビティを通じた新住民と既存住民の交流。地元大学と連携し、“この場所ならではの”学習・活動機会の提供（例：地域学、最先端の健康スポーツ」など、付加価値のある暮らしを提供。

## 新規開発エリア



### 高齢者住まい

コンパクトながらも上質な高齢者向け住まい（戸建て・サ高住等）や別荘・バケーションレンタル



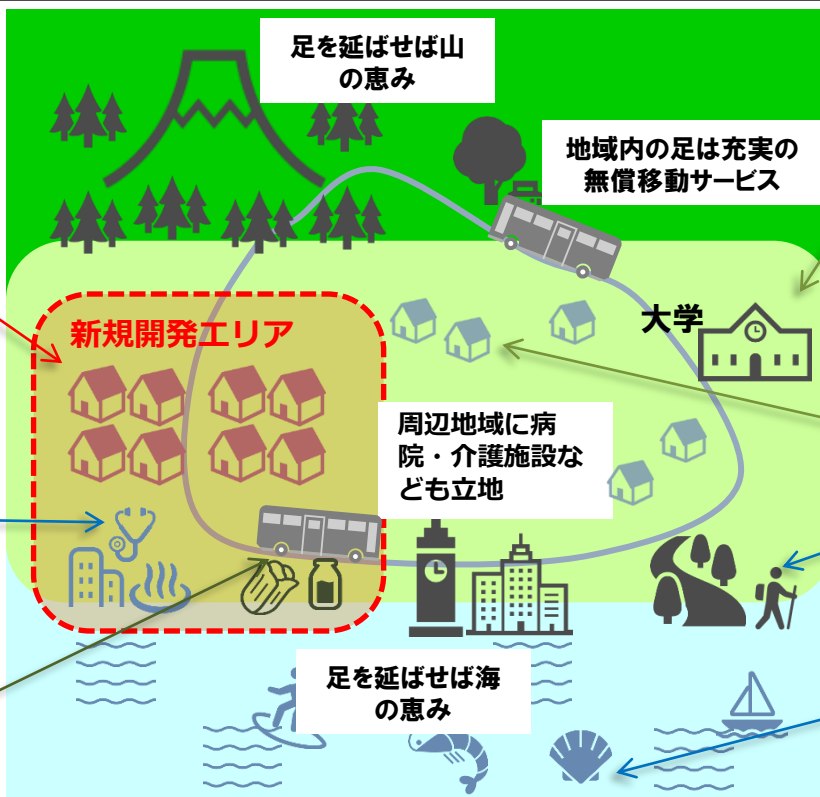
### 医療・介護・健康サービス拠点

質の高い機能回復から病気・介護予防のプログラムなど。ICT活用による高度な医療・介護・健康サービス



### 趣味・遊びの拠点

絵画・陶芸・菜園など、趣味や日々の活動を通じた住民同士の仲間づくり



## 周辺環境

### 大学等連携

科学的・歴史文化的な知見を得たり、健康増進を図る。

### お試し居住

開発エリア周辺の空き家を活用したお試し居住の推進

### スポーツ

地域のスポーツ施設・スポーツクラブで本格的なスポーツを楽しめる。

### 山と海の自然

環境や持続可能な社会の実践を学ぶ。

# 5. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）の類型 （4） 施設型

## 施設型の特徴（例）

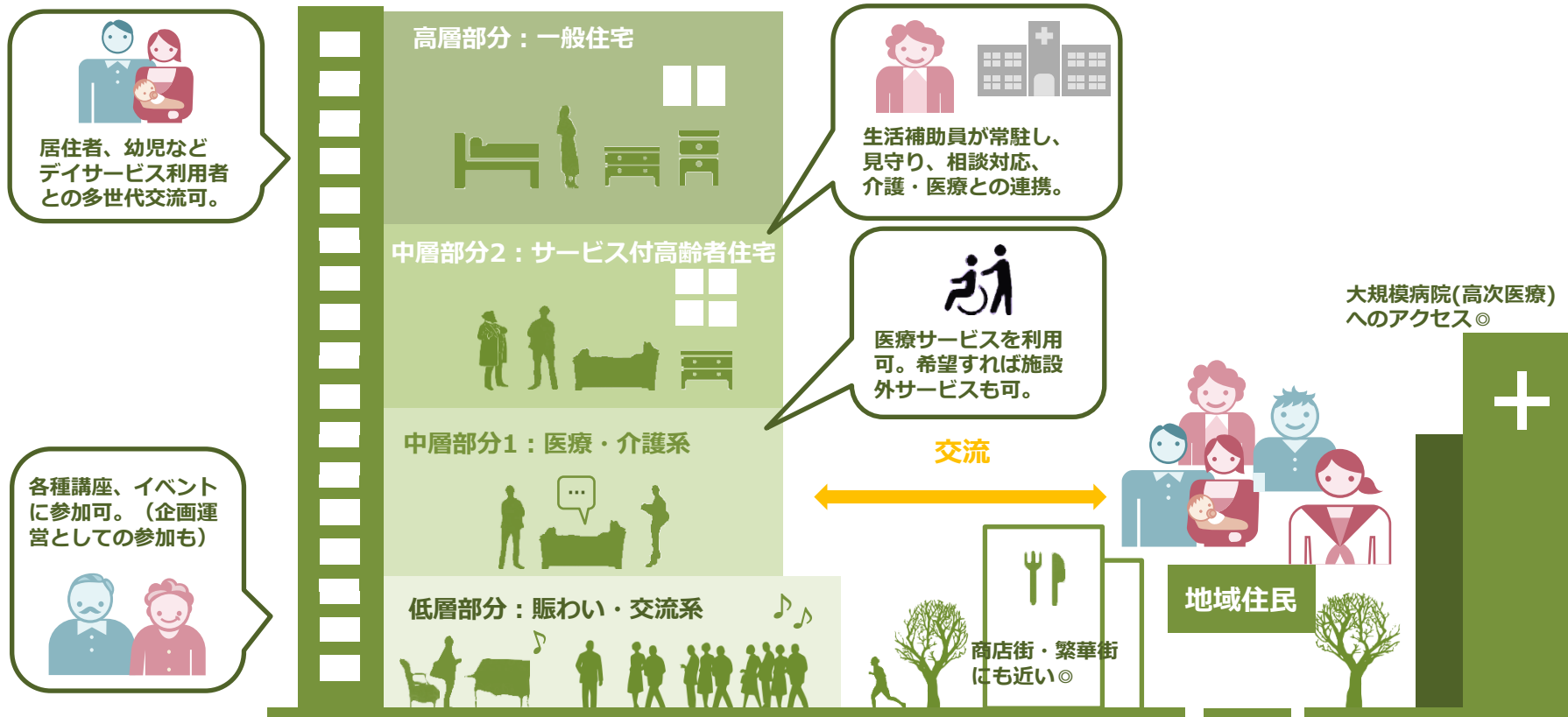
- ・ 静岡市の中心市街地の中心
- ・ 百貨店や商店街へのアクセスもよい
- ・ 新幹線停車駅であり東京・名古屋へのアクセスも良好

### 【基本方針】

- ・ **コンセプト**： **駅近再開発によるまちなか居住推進型CCRC**
- ・ **主なターゲット**： 市内・周辺市町村からの富裕層まちなか居住、東京圏からの富裕層移住

### 【展開の方向】

- ・ 居住機能： 中心市街地における再開発等に伴い整備を推進、有料老人ホーム・サ高住・分譲マンションなどの供給と地域交流拠点をあわせた複合開発
- ・ 健康・医療・介護機能： 静岡市内都心部の高度病院と町医者との連携による充実した医療、最先端のICTを活用した介護、生活支援サービスの提供（大病院・百貨店・商店街などとの連携）
- ・ コミュニティ機能： 都会的な暮らしを志向する入居者に対応し、いざというときの安全・安心、賑わいを重視した交流など、居住者にとってのわかりやすい付加価値の提供を重視。（タウン型との差別化）
- ・ 社会参画・多世代交流・協働機能： 首都圏の意欲あるアクティブシニアのノウハウを活用し、商店街をはじめとする地域の活性化に貢献。特に、静岡にしかない文化的なイベントを活用して訴求（まちは劇場プロジェクト）。



## 6. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）推進に向けて （1）役割分担

- 生涯活躍のまち（CCRC）構想の推進にあたっては、初期整備のみならず、持続的な運営が可能な体制の構築が必要となる。そのためには、継続的・安定的な取り組みを活かすこと、民間事業として採算性が高い事業モデルを構築すること、行政はそれらを支援する立場として関与していくことが望ましい。
- 調査結果等を踏まえた、主体ごとの役割分担のイメージは以下のとおり。

- ボランティア・コミュニティビジネス等の活動の担い手
- 活動の立ち上げ（リーダー）
- 住民同士の交流・支え合い
- 全体マネジメント・支援 など



- 関係主体間の連携・調整
- 各活動支援（国等からの補助金・交付金の獲得、土地・建物等の提供、業務委託） など



- 居住（住まい・生活支援）、介護・医療・健康、学習等のサービスの提供
- 全体マネジメント・支援 など



- COC事業・地域連携
- 施設・講座等の開放
- 専門的観点からの助言等の提供
- 地域を題材とした研究活動 など



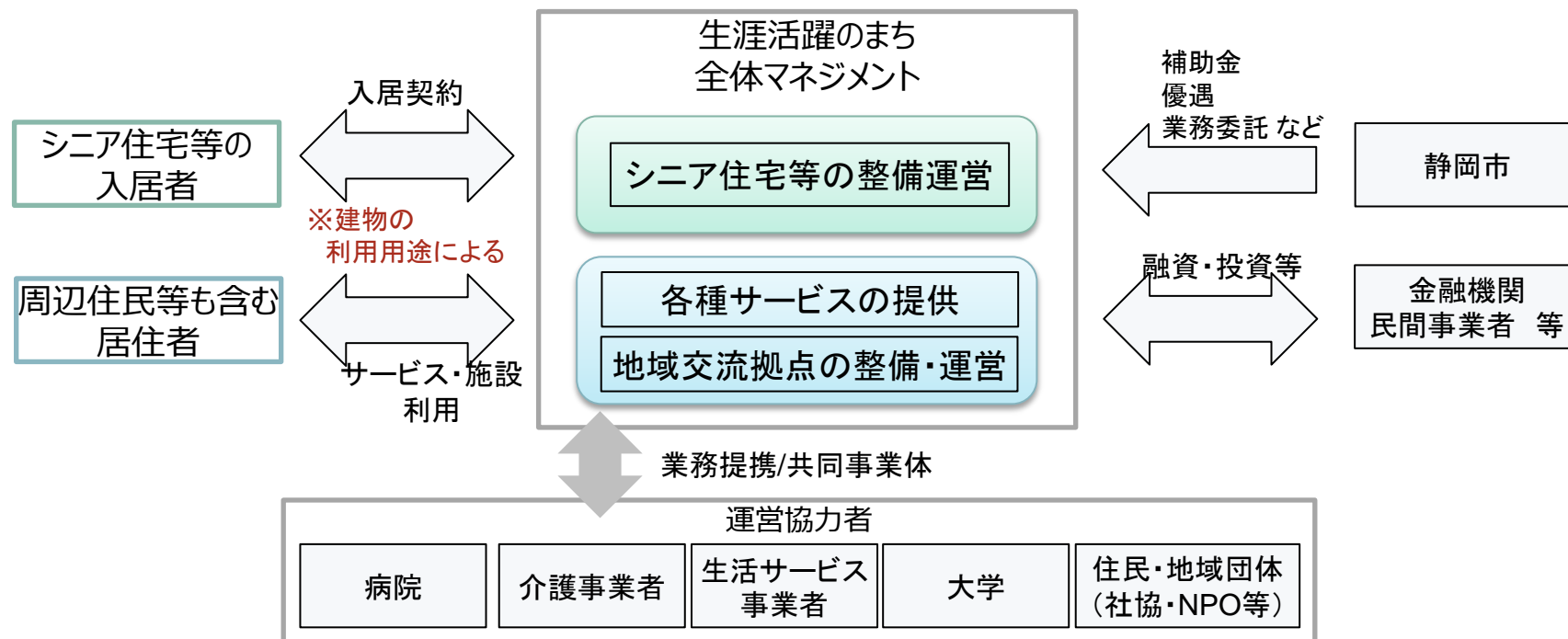
連携

## 6. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）推進に向けて（２）運営スキーム

- 生涯活躍のまちの推進に向けた個別の機能・サービスの提供主体を全体でマネジメントする機能が必要となる。
- 全体マネジメントの担い手は、生涯活躍のまちの実現イメージにより、適切な運営スキームを選択していく必要がある。
- そこで、シニア住宅等の居住機能の整備・管理運営が見込まれるパターンと、地域交流拠点の運営が中心となるパターンで、それぞれ想定される運営スキームを検討した。

### 1) シニア住宅等の居住機能の整備・管理運営が見込まれる場合（主に施設型・エリア型）

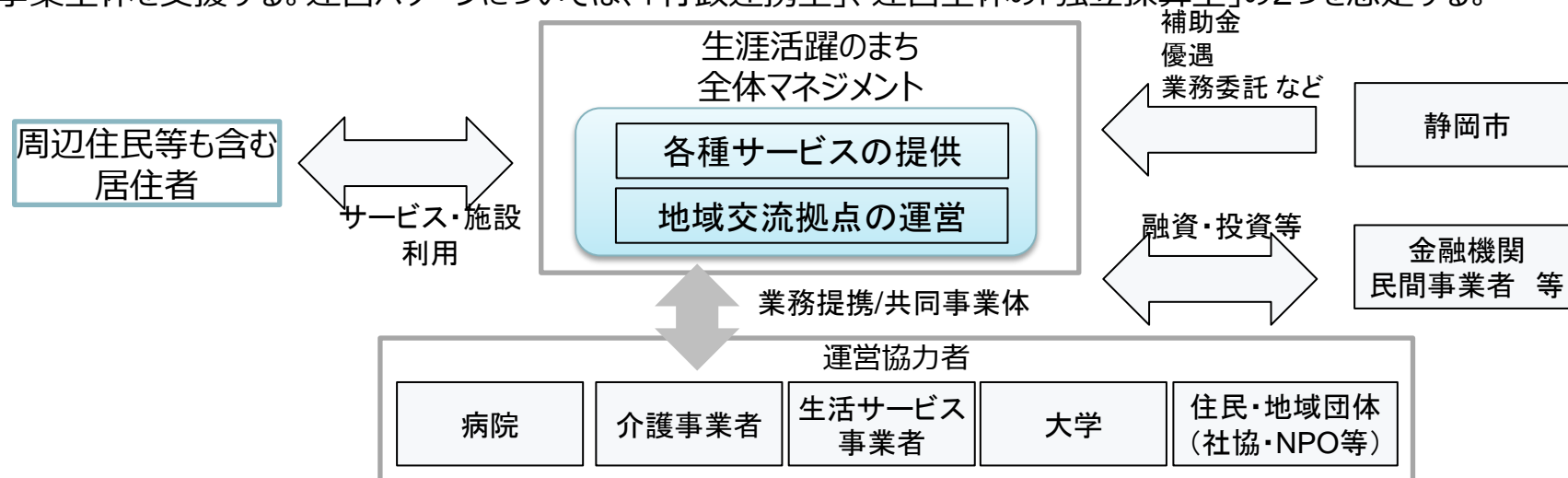
- シニア住宅等の整備・運営を柱としつつ、地域交流拠点の整備・運営、各種サービスの提供をあわせた独立採算の事業を想定する。
- 行政は、関連する施策の支援、地域等の関係主体との連携強化を支援する。
- 整備・運営事業者が単独のケース、役割を分けるケースもありえる。



## 6.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）推進に向けて （2）運営スキーム

### 2）地域交流拠点の運営が中心となる場合（主にタウン型）

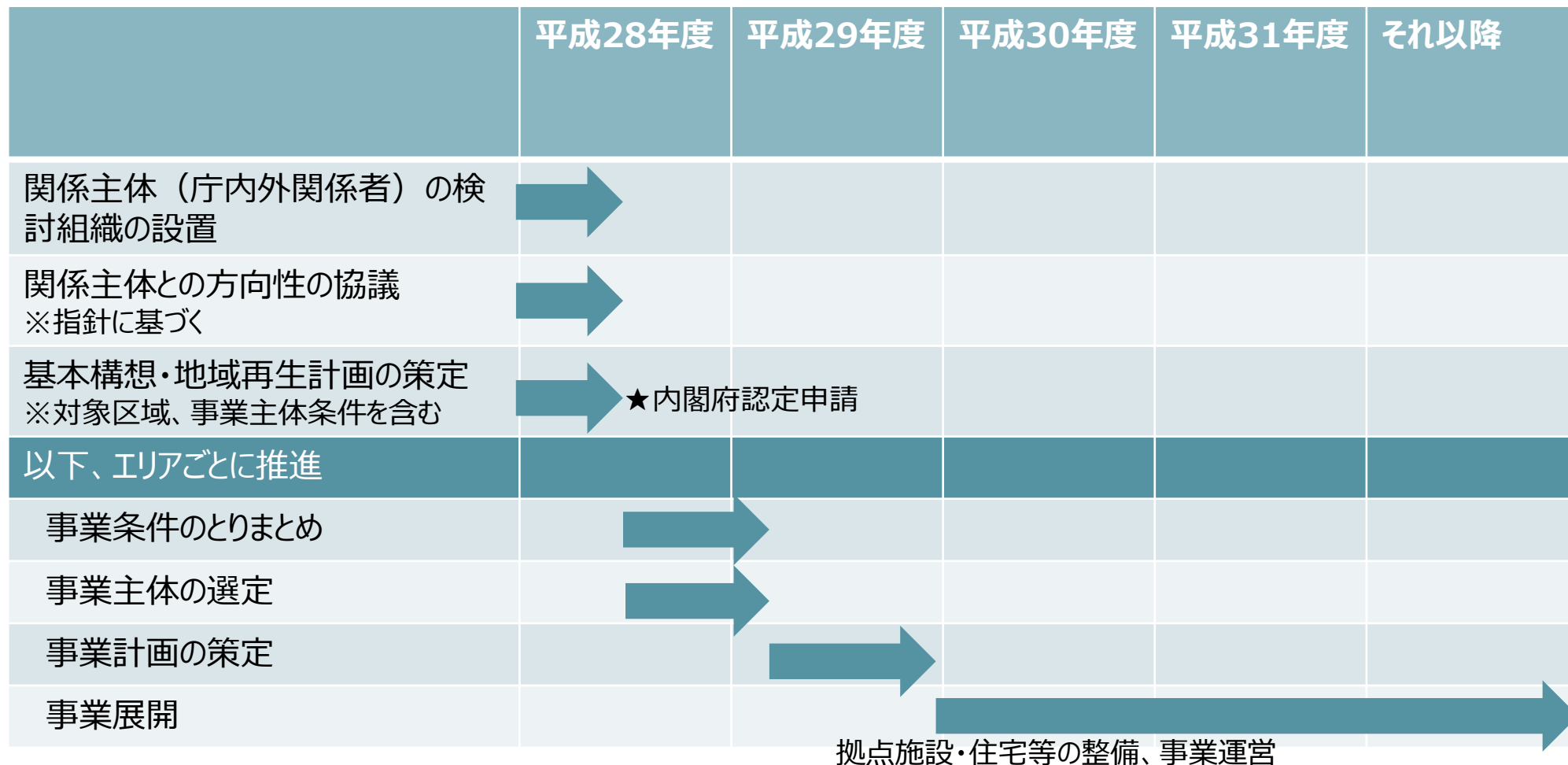
- 地域交流拠点の整備・運営、各種関連サービスの提供を主とする事業を想定する。
- 地域交流拠点の整備にあたり、行政は、既存ストックや保有地などを無償貸与/廉価で貸与、交付金等の活用などにより事業主体を支援する。運営パターンについては、「行政連携型」、運営主体の「独立採算型」の2つを想定する。



	行政連携型	独立採算型
全体マネジメント主体	社会福祉協議会、地域福祉団体 等	各種生活支援、教育・文化等のサービスを提供している民間事業者およびグループ
全体マネジメントの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボランティア、コミュニティ拠点、介護福祉サービスなど、地域団体が行政と一体で取り組んできた取り組みを軸に展開。一部の事業については、委託費事業も含む。</li> <li>• 医療・介護事業者・大学・生活サービス事業者等、必要なサービス提供者と連携。（共同事業体化も見据える）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シニアを対象に生活サービス（買い物・移動・学習…）の総合窓口として全体マネジメントを担う（シニア向けのニーズ発掘をインセンティブに）。</li> <li>• 事業領域が広い企業・グループを中心としつつ、必要に応じて医療・介護事業者・大学・生活サービス事業者等、必要なサービス提供者と連携。（共同事業体化も見据える）</li> </ul>
メリット	市の施策との連動性が強い、地域住民・団体との連携基盤がある	民間の創意工夫により、住民ニーズに即した高度なサービス提供が可能

## 6.静岡型生涯活躍のまち（CCRC）推進に向けて （3）ロードマップ（案）

※平成30年度事業開始を想定したロードマップ案を示す。



## 6. 静岡型生涯活躍のまち（CCRC）推進に向けて（４）推進効果

- 静岡型生涯活躍のまちの推進により、関係する主要なステークホルダー（市民、行政、事業者、大学）ごとに、多様な効果を創出することが期待できる。

[ ]内の★は類型ごとに期待される効果  
★施設型 ★タウン型 ★エリア型

